

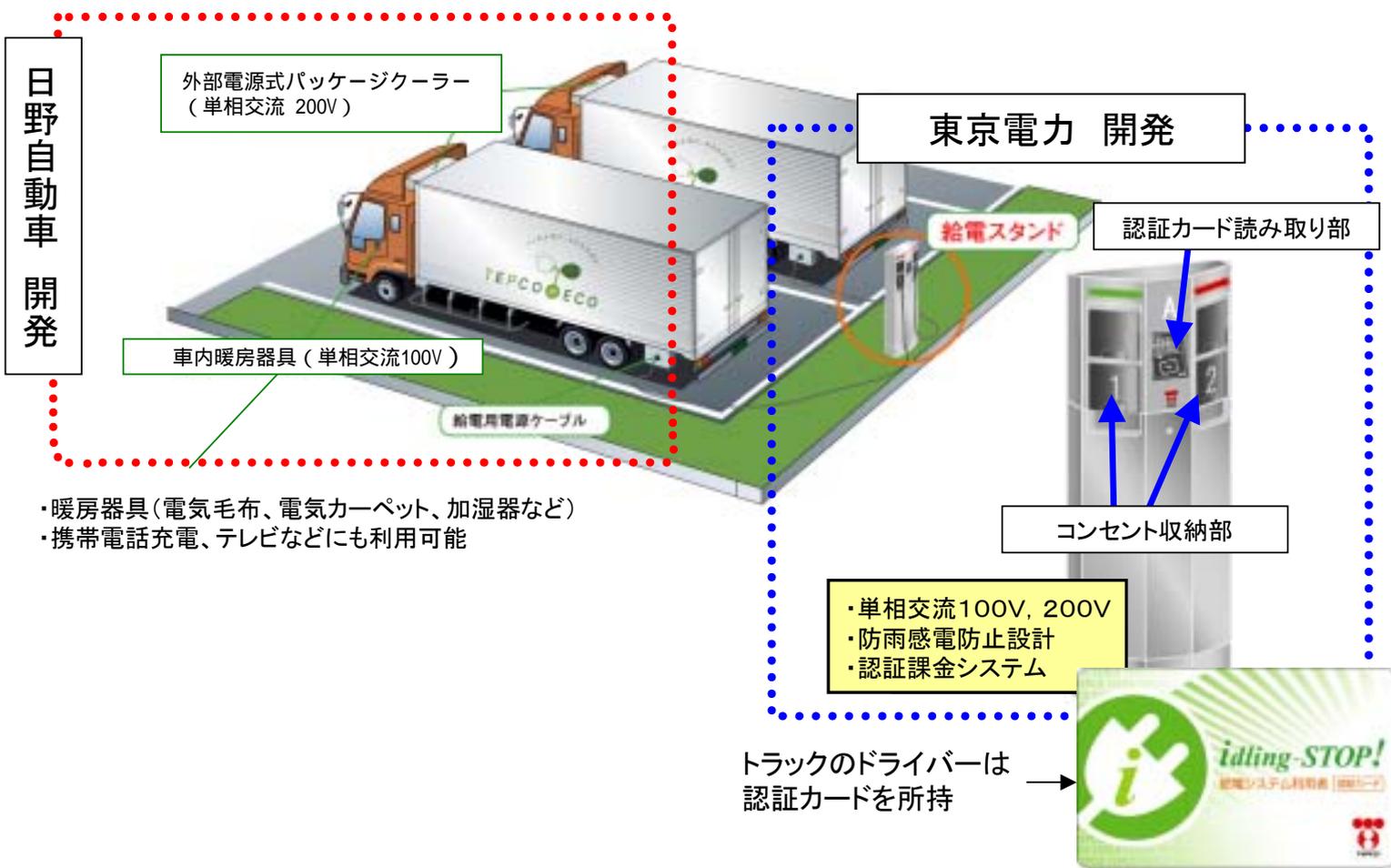
# トラックの「外部電源式アイドリングストップ 冷暖房システム」の本格運用開始について

平成19年10月15日  
東京電力株式会社



# 「外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム」の概要

外部電源式冷暖房装置と給電スタンド(駐車場に設置)で構成



# 今回の給電スタンド設置箇所

- 全国40箇所のトラックステーション\*から、長時間駐車する車両が多い**7地点**を選定し、まずは、**計50基** (**100台の車両に給電することが可能**)を設置

\* (財)貨物自動車運送事業振興センターが運営する、営業用トラックドライバー向けの休憩・休養施設

- 「給電スタンド」に対応した「外部電源式冷暖房装置」

は、まず日野自動車から販売開始

(本システム普及のため、今後、広く他の自動車メーカーなどからも販売されることを期待)

- 今後の導入候補地点

高速道路のSA/PA

地方のガソリンスタンドやコンビニエンスストア

民間企業の工場 等



本事業は、環境省の「地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業」に選定

環境省の補助金制度で、地球温暖化対策の新たなビジネスモデルとして成り立つ可能性の高い先進的な取り組みを支援するもの

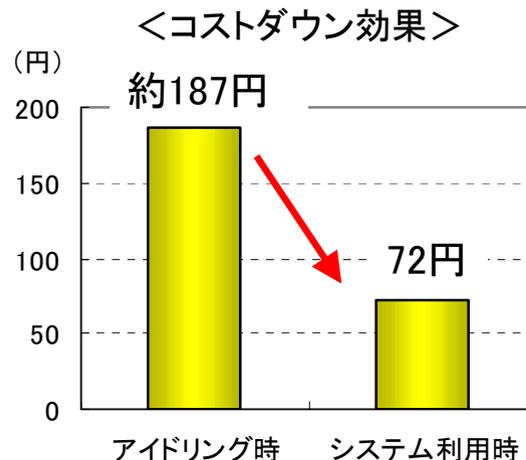
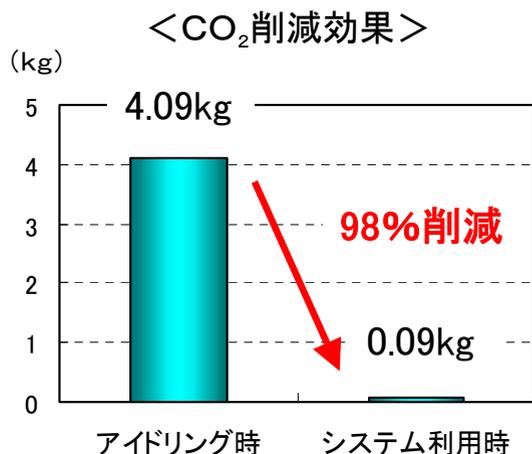
# CO<sub>2</sub>削減効果、コストダウン効果(実証試験の結果を踏まえ試算)①

【大型トラック1台あたり】年間約6トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減 / 年間17万円程度のコストダウン

- \* 車両の冷暖房装置の購入費用及び本システムの基本料金(認証カード1枚につき月額1,050円(税込))は含まれておりません。
- \* 利用実態に即した条件(大型トラック1台が、1日平均6時間、年間250日間アイドリングストップした場合)で試算。

## ◆大型トラック1台のアイドリング1時間あたりの試算例 (実証試験結果を踏まえ試算)

\* 実証試験期間: 平成17年8月1日～平成18年10月31日



### ＜試算根拠＞

- ※ 軽油のCO<sub>2</sub>排出係数=2.62[kg-CO<sub>2</sub>/ℓ]  
(環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2:平成19年2月公表より)
- ※ 一般電気事業者10社のCO<sub>2</sub>排出係数=0.425[kg-CO<sub>2</sub>/kWh]  
(電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」平成18年9月22日公表より)
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56ℓ/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 消費電力量は、実証試験期間中の電力消費量の平均値=0.22kWh(電力消費量/接続時間)
- ※ 軽油単価:120円/ℓと仮定

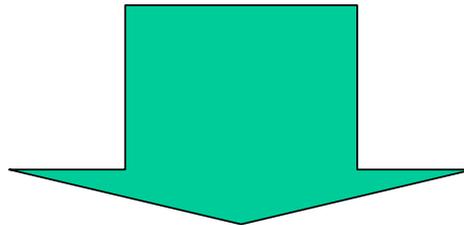
なお、天候、気温、クーラーの温度設定、車両の整備状況、燃料費の変動等、その他様々な要因により、CO<sub>2</sub>削減量やコストダウン効果は変動いたします

給電スタンド利用料金表		※平成19年8月現在
基本料金	利用料金	
認証カード1枚につき 月額 <b>1,050円</b> (税込)	1時間 <b>72円</b> (税込) キャンペーン 特別料金設定 <b>43.2円</b> (税込) ※平成19年3月末まで	

\* 利用料金は1分毎に課金されます

## CO<sub>2</sub>削減効果、コストダウン効果(実証試験の結果を踏まえ試算)②

大型トラックが、50基の給電スタンド(100台の車両に電力を供給可能)を、使用した場合・・・



年間600トン程度のCO<sub>2</sub>削減効果が得られる

およそ一般家庭約100世帯が一年間に排出するCO<sub>2</sub>排出量に相当

### <試算根拠>

- ※ 利用実態に即した条件(大型トラック1台が、1日平均6時間、年間250日間アイドリングストップした場合)で試算。
- ※ 軽油のCO<sub>2</sub>排出係数=2.62 [kg-CO<sub>2</sub>/ℓ] (環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2:平成19年2月公表より)
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56ℓ/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 消費電力量は、実証試験期間中の電力消費量の平均値=0.22kWh(電力消費量/接続時間)
- ※ 一般電気事業者10社のCO<sub>2</sub>排出係数=0.425[kg-CO<sub>2</sub>/kWh] (電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」平成18年9月22日公表より)
- ※ 一般家庭一世帯あたりの年間のCO<sub>2</sub>排出量(2005年度):5.5t  
(国立環境研究所 地球環境研究センター温室効果ガスインベントリオフィス「温室効果ガス排出量・吸気量データベース」より)